

2025年3月期 営業のご報告

SFG REPORT 2025 June

ごあいさつ



取締役社長 CEO 柴田 久

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

雇用・所得環境の改善や企業収益の回復が見られるなか、日本銀行の利上げによる「金利のある世界」が到来し、国内経済は新たな成長ステージに向けて動き始めました。

一方で、地域の現状を見ますと、人口減少に伴う労働力不足の深刻化や気候変動問題にくわえ、米国政権が繰り出す関税政策への対応など、持続性のある経済成長に向けた課題が山積しており、その壁を一つずつ乗り越えていかなければなりません。

こうしたなか、持株会社体制に移行して初めて取り組む第1次中期経営計画「Xover～新時代を拓く」は、折り返しとなる3年目を迎えました。今後は、これまでの成果と課題を検証したうえで、ビジョンに掲げた「未来へつなぐ新たな価値を創造する課題解決型企業グループ」の実現に向け、地域社会の課題解決による「社会価値創造」と「企業価値向上」の両立をさらに加速させ、持続的な成長に貢献していきたいと考えております。

そのためにも、地域やお客さまと伴走しながら、リスクを見極めて冷静かつ大胆に決断し、明るい未来に向かって積極果敢な挑戦を続けてまいります。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

未来がはじまる場所になる。

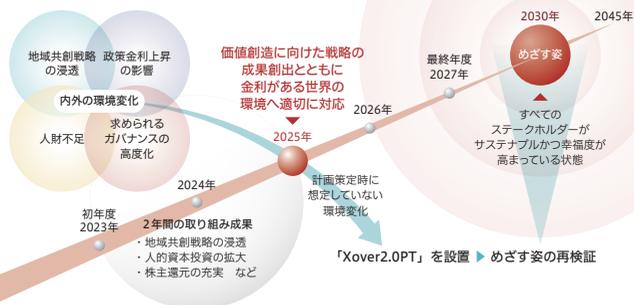


しずおかフィナンシャルグループ

第1次中期経営計画【期間2023～2027年度】

クロスオーバー
Xover
～新時代を拓く

- 10年ビジョン** 地域の未来にコミットし、地域の成長をプロデュースする企業グループ
- 中計ビジョン** 未来へつなぐ新たな価値を創造する課題解決型企業グループ



地域社会の健全な成長

地域の未来を共創する「富士山・アルプス アライアンス」を締結



豊かな自然資本や魅力ある産業構造、首都圏への近接性など、共通のポテンシャルをもつ静岡県、山梨県、長野県のリーディングバンクが連携し、世界に向けて、3県の「未来のカタチ」を発信します。

また、人口減少や労働力不足など、共通の地域課題の解決に取り組むとともに、地域活性化や収益機会拡大に向けた施策も連携して推進します。

さらに、こうした取り組みの成果を測るため、社会価値創造を測る指標として、「3県における人口の社会増」を掲げ、地域の持続的成長にコミットします。



目標 収益効果 **200**億円（5年累計・3行合算）

重点施策

- ・人口減少・労働力不足に対する関係人口の増加
- ・海外資本・人財を呼び込む新事業の展開
- ・ベンチャー・グロース分野の協業拡大やM&A・事業承継の強化

人的資本経営の実践

「役職員の夢・行動」と「基本理念・経営戦略」の一致に向けて

中計ビジョンおよびカルチャー&ウェルビーイング・イノベーションの実現に向け、タウンミーティング（役員と従業員の対話の場）の継続やフルフラットコミュニケーションの実践に向けたワークショップの実施など、さまざまな施策に取り組んでいます。2024年度は、デジタル社会の形成に向けて役職員の知識やスキルの向上をめざすコンテストや研修の実施、従業員自身の「Financial Wellness※」の実現をめざす「RS信託」の導入などに取り組んでいます。

※ 将来の金銭的な状況に安心感をもち、生活を楽しむための選択ができる状態

デジタル分野での人財育成

グループ役員を対象に「生成AI活用アイデアコンテスト」を実施

- ・目的/生成AIの活用とさらなる浸透と定着、業務効率化につながるアイデアの蓄積
- ・応募総数/86件



「Financial Wellness」への取り組み

持続可能な地域社会の実現に向け、新たな価値創造の担い手となる従業員自身の「Financial Wellness」への取り組み強化の一環として、グループ全従業員に対する株式交付制度として「RS信託」を導入しました。これにより、すべての従業員が株価上昇と増配メリットを享受し、自身の資産形成につなげつつ、株主としての目線を持った行動を促します。

環境と経済が両立した社会の充実

地域の脱炭素化に向けた取り組みを加速

2024年度は、静岡県内すべての地方銀行・信用金庫でGHG排出量算定ツール「しずおかGXサポート」の取扱を開始したほか、サステナブルファイナンスの推進やJ-クレジット創出支援など、幅広いサービスメニューの提供に取り組ましました。

また、自治体を含めた連携や脱炭素化に向けた人財育成、地域企業へのコンサルティングの実践など、地域一体となって脱炭素社会の実現に向けて活動しています。

地産地消
J-クレジット
普及への取り組み

静銀経営コンサルティングが創出支援した「南アルプスカーボンプクレジット<十山株>」を完売しました。

- 販売量 ▶ 1,410トン
- 購入企業 ▶ 静岡県内8社



気候変動分野における外部機関からの評価、受賞グループでの気候変動分野における取り組みが、外部機関から高く評価されています。

ESGファイナンス・アワード・ジャパン

3年連続で金賞【環境大臣賞】を受賞

CDP（環境情報開示における国際的な非営利団体）

最高ランクの「Aリスト」評価

未来世代に向けた取り組み

スポーツ・文化、地域との交流を通じた豊かな地域社会の創造

子どもたちの健全な育成を支援し、持続可能な豊かな社会づくりをめざす地域貢献活動、金融リテラシー向上をめざす金融経済教育を推進しています。

GOTEMBA MIRAI PROJECT 2024

御殿場市の未来を担う人材育成と社会課題の解決を目的に、アントレプレナーシップ教育（起業家教育）を軸とした地域活性化プロジェクトを実施



しずぎんカップ

静岡県チャンピオンをかけて熱戦が繰り広げられる「しずぎんカップ静岡県ユースU-11サッカー大会」「しずぎんカップ静岡県スポーツ少年団学童軟式野球大会」に協賛



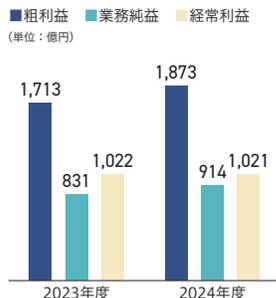
金融経済教育

グループのネットワークを活用し、地域の学校や異業種企業等と連携した出張授業や見学会などを実施

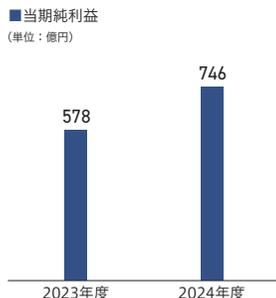


業績ハイライト (2024年度)

粗利益・業務純益・経常利益(連結)



親会社株主に帰属する当期純利益(連結)



ROE(連結)

純資産基準 **6.3%**

前年度比+1.4pt

株主資本基準 **7.7%**

前年度比+1.5pt

OHR(連結)

51.9%

前年度比 ▲4.4pt

貸出金残高(平残) 〈静岡銀行〉

10兆5,299 億円

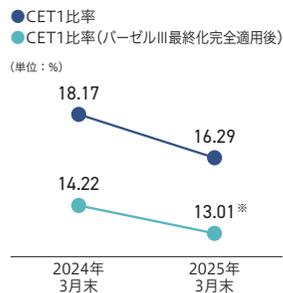
前年度比+3,333億円

預金等残高(平残) 〈静岡銀行〉

12兆680 億円

前年度比+1,775億円

自己資本比率(連結)



*バーゼルIII最終化完全適用後の資本フロア調整額等を考慮した試算値

格付

	しずおか フィナンシャル グループ	静岡 銀行
Moody's	-	A1
S&P Global Ratings	-	A ⁻
格付投資 情報センター (R&I)	AA ⁻	AA ⁻

株式情報

株式情報 (2025年3月31日現在)

株主数	31,896名 (2024年9月30日比 3,858名増)
発行済株式の総数	580,129,069株
保有自己株式数	38,195,411株

株主還元状況

2027年度までに「配当性向50%以上」への累進的な引き上げをめざします。2024年度の1株当たり配当金(年間)は、2023年度から21円増配し60円を予定するとともに、2025年度においても12円増配の72円を予定しています。

	中間	期末	年間配当金
2024年度	25円	35円(予定)	60円(予定)
2025年度	36円(予定)	36円(予定)	72円(予定)

株式事務のご案内

株式事務につきましては、以下をご覧ください。

<https://www.shizuoka-fg.co.jp/ir/stock-administration.html>



グループの活動や取り組みに対する 外部機関の評価や受賞実績

「健康経営銘柄」に選定

「健康経営優良法人制度(ホワイト500)」に認定



優れた健康経営を実践する企業として、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄」に2年連続で選定されました。あわせて「健康経営優良法人制度(ホワイト500)」についても、昨年に引き続き認定されました。

日経統合報告書アワードで 「グランプリS賞」を受賞

第4回日経統合報告書アワードにおいて、「グランプリS賞」を受賞しました。「グランプリS賞」とは、ESGのうち「S(Social:社会)」に該当する項目の開示がとくに優れた企業に贈られるもので、今回、初受賞となりました。

今後も、ステークホルダーの皆さまにグループの取り組みについてご理解とご支援をいただけるよう、積極的な情報開示と皆さまとの対話を重視し、企業価値向上に努めてまいります。



統合報告書
WEBページ

